

# (別紙) イベント等の開催に係る人数上限・収容率の目安

- 人数上限及び収容率要件による人数のいずれか小さいほうを限度とする
- 業種別ガイドラインの見直しを前提に、イベント等の主催者及び施設管理者の双方において、必要な感染防止対策が担保・公表される場合、下記の取扱いとする  
(それ以外の場合、従来の制限を目安とする)

時期	①人数上限	②収容率		
		大声での歓声・声援等がないことを前提とするもの	大声での歓声・声援等が想定されるもの	
9/19～当面11月末まで		<b>100%以内</b> (席がない場合は適切な間隔)	<b>50%以内</b> (席がない場合は十分な間隔)	
イベントの種類	①収容人数10,000人超 → <b>収容人数の50%</b>  ②収容人数10,000人以下 → <b>5,000人</b>  ※「熊本市におけるイベント等の開催に関する基準」が順守できない場合、これまで同様 <b>5,000人以下</b> かつ収容率 <b>50%以内</b> (屋外： <b>2m程度の間隔</b> )とする	下記①～③すべてを満たす場合 ①これまでの当該出演者・出演団体の開催実績において観客が大声での歓声・声援等を発し、又は歌唱する等の実態が見られないもの(実績がない場合は類似イベントに照らしこれらが想定されないもの) ②これまでの開催実績を踏まえ、マスクの着用を含め、個別の参加者に対して感染防止対策の徹底が行われうるもの ③発声する演者と観客との距離が適切に保たれている等、感染対策等が感染拡大予防ガイドラインに盛り込まれ、それに則った感染防止他紙策が実施されるもの  ■収容定員が設定されている場合は <b>100%以内</b> ■設定されていない場合は密が発生しない程度の間隔(最低限人と人が接触しない程度の間隔)	異なるグループ(又は個人)間では座席を1席空けることとしつつ、同一グループ(5名以内)内では座席等の間隔を空ける必要はない(この場合収容率は50%を超える場合がある)  ■収容定員が設定されている場合は <b>50%以内</b> ■設定されていない場合は <b>十分な人と人との距離(1m)</b> を要する	
	展示会・地域の行事等  ※参加者が自由に移動			
	全国的・広域的なお祭り・野外フェス等	クラスタ対策が困難であることから、中止を含めて慎重に判断		

大声での歓声・声援等がないことを前提とする環境で、参加者が自由に移動できる他の施設(美術館、博物館、動植物園、遊園地等)についても同様の考え方を適用

**【具体例1】**  
 ・熊本城ホールメインホール(収容人数2,300人)でクラシックコンサートを行う場合  
 ①人数上限 = 2,300人  
 ②収容率 = 2,300人 × 100% = 2,300人  
 ⇒ ① = ②のため、参加者の上限は**2,300人**

**【具体例2】**  
 ・熊本城ホールメインホール(収容人数2,300人)でロックコンサートを行う場合  
 ①人数上限 = 2,300人  
 ②収容率 = 2,300人 × 50% (以内) = 1,150人  
 ⇒ ① > ②のため、参加者の上限は**1,150人(以下)**